JAEMS
日本教育メディア学会

学 会 通 信

第 74 号

2015 年 10 月 2 日発行

目次

2015 年度定例会総会開催通知（会告） …… 2

第 22 回年次大会のご案内【直前号】 …… 7

ICoME 2015 のご報告 ……17

論文投稿のご案内 ……17

企画委員会ワークショップ等の報告 ……18

学会費納入のお願い、入会者・退会者 ……18

2015 年度定例会総会開催通知（会告）

正会員各位

下記により2015年度日本メディア学会定例総会を開催いたします。会員各位の出席をお願いいたします。なお，ご出席されない方は，事務局から送られたメールに記載されている指定の書式を用いて電子メールで委任状をお送りください（2015年10月15日（木）必着）。

2015年9月30日
日本教育メディア学会
会長　鈴木　克明

記

1.日　時：2015 年10月17日（土）15:20－16:20（第１日目）

2.場　所：日本大学　文理学部　3505教室

3.内　容：
（１）議案
第1号議案　2014年度事業報告及び収支決算承認の件
①機関誌発行
②年次大会の開催
③学術交流等
④2014年度収支決算（案），監査報告

第2号議案　2015年度事業計画及び収支予算承認の件
①機関誌発行
②年次大会の開催
③学術交流等
④2015年度収支予算（案）

第3号議案　第8期会長・理事・監事承認の件

（２）報告事項
①表彰「日本視聴覚教育協会・井内賞」審査経過と結果報告
②『教育メディア研究』特集および投稿募集の件
③2016年度年次大会の件
④ICoME2016の件
⑤その他

以上

（１）議案

第1号議案　2014年度事業報告及び収支決算承認の件

2014年度に実施した事業は次のとおりである。

①機関誌発行

１．「日本教育メディア研究」第20巻2号，第21巻1号，第21巻2号を刊行し，会員に配布した。

２．ニューズレター第67号（2014年5月1日発行），第68号（2014年7月3日発行），第69号（2014年10月3日），第70号（2014年12月6日発行），第71号（2015年2月2日発行）を刊行し，会員に配布した。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第21回年次大会を，金沢星稜大学で開催した（2014年10月11日～10月12日）。また，「第21回年次大会発表論文集」を刊行し，申込者に配布した。

③学術交流等

１．次の研究会を開催した。

（１）2014年度第１回日本教育メディア学会研究会「人・学校・周辺環境を結ぶICT活用の教育実践／一般」

(2014年7月13日：長崎県立大学)

（２）2014年度第２回日本教育メディア学会研究会「ICTを活用した教育を促進するための支援・教育実践／一般」

(2015年2月21日：愛知教育大学)

２．ICoME2014を共同開催した。　(2014年８月25日～8月28日：韓国・高麗大学)

３．企画委員会企画「解明：デジタル教科書の現状と展望」ワークショップを開催した。（2014年9月27日：株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS）

4. 編集委員会・企画委員会合同企画「教員養成・現職研修におけるメディア活用」ワークショップを開催した。（2015年2月7日：奈良教育大学）

④2014年度収支決算，監査報告

2014年度収支決算を次ページに記す。

2014年度 収支決算 （自2014.4.1～至2015.3.31）

１．収入の部

収　入　項　目	当初予算	決算額	差額	備　　考
繰越金	3,814,366	3,814,366	0	2013 年度から繰り入れ
正会員会費	1,659,000	1,750,000	91,000	250 名分
学生会員会費	104,000	68,000	▲ 36,000	17 名分
団体会員会費	300,000	250,000	▲ 50,000	5 団体分
購読会員会費	70,000	63,000	▲ 7,000	9 会員分
過年度正会員会費	308,000	427,000	119,000	のべ 61 名分
過年度学生会員会費	24,000	16,000	▲ 8,000	のべ 4 名分
過年度団体会員会費	50,000	0	▲ 50,000	
過年度購読会員会費	28,000	21,000	▲ 7,000	3 会員分
入会金	30,000	52,000	22,000	26 名分
雑収入	100,000	315,798	215,798	別刷り印刷 174,000 円，ICoME2014 参加費 141,000 円，利子 798 円
計	6,487,366	6,777,164	289,798	

２．支出の部

支　出　項　目	当初予算	決算額	差額	備　　考
通信運搬	300,000	277,506	▲ 22,494	学会誌・別刷送料
消耗品	100,000	78,189	▲ 21,811	消耗品費
設備・什器	0	0	0	
印刷製本	1,200,000	1,472,614	272,614	学会誌・別刷 20(2)，21(1)，21(2) 印刷製本費
会議費	100,000	25,445	▲ 74,555	弁当・お茶代（25,445 円）
国際会議開催補助費	350,000	350,000	0	ICoME2016 開催補助費（2014 年度分積立金）
借損料	50,000	0	▲ 50,000	会議室を無料で借りることができたため
旅費	200,000	166,990	▲ 33,010	
諸謝金	500,000	512,000	12,000	
年次大会委託費	400,000	313,461	▲ 86,539	協賛金、参加費による黒字
研究会委託費	200,000	107,111	▲ 92,889	協賛金、参加費による黒字
企画委員会委託費	200,000	45,320	▲ 154,680	協賛金、参加費による黒字
雑費	60,000	36,319	▲ 23,681	振込手数料（4,104 円），ホスティングサーバー料金（24,439 円），DNS 料金（7,776 円）
予備費	2,827,366	100,000	▲ 2,727,366	名簿作成に関わる諸謝金（100,000 円）
次年度繰越金	0	3,292,209	3,292,209	2015 年度に繰り越し
計	6,487,366	6,777,164	289,798	

第２号議案　2015年度事業計画及び収支予算案

2015年度に実施する事業は次のとおりである。

①機関誌発行

１．『日本教育メディア研究』第22巻1号，第22巻2号を刊行し，会員に配布する。

２．ニューズレター第72号～第76号を刊行し，会員に公開する（メーリングリスト，Webサイト）。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第22回年次大会を，日本大学で開催する（2015年10月17日～10月18日）。

また，「第22回年次大会発表論文集」を刊行し，申込者に配布する。

③学術交流等

１．次の研究会を開催する。

(1) 2015年度第１回日本教育メディア学会研究会

(2015年6月13日（土）：東北学院大学)

(2) 2015年度第２回日本教育メディア学会研究会

(2016年2月：未定)

２．ICoME2015を共同開催する。　(2015年８月17日～20日：中国・長春　Northeast Normal University)

３．企画委員会企画を開催する。

テーマ「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」ワークショップ

(2015年9月5日：株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS)

④2015年度収支予算（案）

2015年度収支予算（案）を次ページに記す。

2015年度予算 （自2015.4.1～至2016.3.31）案

１．収入の部

収　入　項　目	前年度決算	予算額	備　　考
繰越金	3,814,366	3,292,209	2014 年度から繰り入れ
正会員会費	1,750,000	1,645,000	7,000 円×235 名（納入率 70%）
学生会員会費	68,000	104,000	4,000 円×26 名分（納入率 70%）
団体会員会費	250,000	300,000	6 団体
購読会員会費	63,000	70,000	10 会員
過年度正会員会費	427,000	259,000	7,000 円×37 名分（未納者の 40%）
過年度学生会員会費	16,000	32,000	4,000 円×8 名分（未納者の 40%）
過年度団体会員会費	0	50,000	1 団体
過年度購読会員会費	21,000	14,000	2 会員
入会金	52,000	30,000	15 名分
雑収入	315,798	300,000	別刷り印刷、雑誌販売、ICoME 参加費
計	6,777,164	6,096,209	

２．支出の部

支　出　項　目	前年度決算	予算額	備　　考
通信運搬	277,506	350,000	学会誌・別刷郵送費（200,000 円）、選挙関連郵送費（100,000 円）、事務局移転費（30,000 円）、その他郵送費（20,000 円）
消耗品	78,189	200,000	消耗品費（100,000 円）、選挙に伴う用紙、封筒、印刷用トナー（100,000 円）
設備・什器	0	50,000	新事務局什器整備費
印刷製本	1,472,614	1,000,000	教育メディア研究 22(1)・22(2)，封筒，別刷
会議費	25,445	100,000	理事会・各種委員会・事務局会議費
国際会議開催補助費	350,000	350,000	ICoME2016 開催補助費（2015 年度分）
借損料	0	50,000	理事会・各種委員会会議場借料
旅費	166,990	200,000	監査に係る旅費，事務員旅費
諸謝金	512,000	500,000	事務局補助謝金
年次大会委託費	313,461	400,000	年次大会開催委託費
研究会委託費	107,111	200,000	研究会委託費　２回分
企画委員会委託費	45,320	200,000	企画委員会委託費
雑費	36,319	60,000	振込手数料，ホスティングサーバー料金（24,439 円），DNS 料金（7,776 円）
予備費	100,000	2,436,209	
次年度繰越金	3,292,209	0	
計	6,777,164	6,096,209	

第 22 回年次大会のご案内【直前号】

大会実行委員長　柴山英樹（日本大学）

Ⅰ　開催期日・場所等

・開催期日：2015 年 10 月 17 日（土）～18 日（日）

・開催場所：日本大学文理学部〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

・年次大会サイト　http://jaems.jp/conference/

Ⅱ　大会日程（予定）

○10 月 17 日（土）

時　間	内　　容
11：30～	受　付
12：30～15：00	**一般研究発表**（1 件あたり 20 分発表 10 分質疑）
15：20～16：20	**総　会**
16：30～17：45	**基調講演**「これからの教育と AI・人工知能」 新井　紀子（国立情報学研究所）
18：00～20：00	**懇親会**（日本大学文理学部内食堂にて）

○10 月 18 日（日）

時　間	内　　容
9：00～	受　付
9：30～11：30	**課題研究発表** 課題研究Ⅰ「タブレット端末環境と実践・評価・運用」 コーディネータ：中川　一史（放送大学） 課題研究Ⅱ「OER / MOOCs のデザイン、開発、実践、評価」 コーディネータ：佐々木　輝美（国際基督教大学）・ Insung　JUNG（国際基督教大学） 課題研究Ⅲ「情報活用能力の育成と評価」 コーディネータ：後藤　康志（新潟大学） 課題研究Ⅳ「メディアとしての教材」 コーディネータ：朝倉　徹（東海大学）
11：30～12：30	昼　食
12：30～15：00	**一般研究発表**（1 件あたり 20 分発表 10 分質疑）
15：20～17：20	**シンポジウム**「教育とメディアの理論研究展望」 ・登壇者：小柳　和喜雄（奈良教育大学）、朝倉徹（東海大学）、 中橋雄（武蔵大学） ・コーディネータ：小笠原喜康（日本大学）

Ⅲ　年次大会参加費等

		事前支払いの場合	当日支払いの場合
参加費	会　　員	3,000 円	4,000 円
	学 生 会 員	1,000 円	2,000 円
	非　会　員	4,000 円 ※幼・保・小・中・高校の現職教員の場合　無料	5,000 円 ※幼・保・小・中・高校の現職教員の場合　無料
	学生非会員	2,000 円	3,000 円
冊子	・本大会では、発表予稿集は冊子にせず、PDF ファイルの形で事前に学会 HP 上で配布することになりました。事前にメールにてダウンロード先の URL を送ります。また、冊子体（PDF ファイルをコピーして、ホッチキスで止めた簡易なもの）は、事前申し込みの際に、購入を希望された方のみ配布いたします。大会会場での販売はございませんので、ご了承ください。なお当日は、予稿集を入れた iPad と BookPC（それぞれ 5 台）を用意します。		
懇親会	5,000 円（学生 3,000 円）		

※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参集いただき、学会の認知や入会を促すと意図がありますので、ご了承願います。

Ⅳ　昼食について

・参加者各自でお願いいたします。
・大会 1 日目は学食が営業しております。
・大会 2 日目は学食が休業しております。各自でご用意ください。
・上記のように昼食に少々ご不便をおかけいたします。あらかじめご承知おきください。

Ⅴ　会場までのアクセス

・京王線 下高井戸あるいは桜上水下車、徒歩 8 分

Ⅵ　年次大会事務局について

年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

○年次大会事務局
日本大学文理学部　教育学科研究室
電話：03－5317－9714　メールアドレス jaems2015@oggo.jp

基調講演　　（３５０５教室）　　１０月１７日（土）　16：30~17：45

テーマ：「これからの教育と AI・人工知能」

登壇者：新井　紀子（国立情報学研究所）

K-1　課題研究Ⅰ　タブレット端末環境と実践・評価・運用（７００９教室）

１０月１８日（日）9：30~11：30

コーディネータ：中川　一史（放送大学）

K1-1　１人１台タブレット端末の導入期における実態調査―市全体の小・中学校に導入した自治体を対象として―

寺嶋　浩介（大阪教育大学）

中川 一史(放送大学)・村井 万寿夫(金沢星稜大学)

K1-2　タブレット端末の操作学習と活用を広める指導方略の考察

中村　武弘（三重県度会郡南伊勢町立南島東小学校）

中川 一史(放送大学)・柳田 智克(株式会社ポケモン)

K1-3　小中学校での一人１台のタブレット端末環境における活用事例の特徴と課題に関する検討

山本　朋弘（熊本県教育庁）

K1-4　タブレットを活用した自主学習の記録・共有と児童の内省に関する調査

稲垣　忠（東北学院大学）

住谷 徹・土屋 利恵子・中垣 眞紀(ベネッセ教育総合研究所)

K-2　課題研究Ⅱ　OER / MOOCs のデザイン、開発、実践、評価（７０１０教室）

１０月１８日（日）9：30~11：30

コーディネータ：佐々木　輝美（国際基督教大学）

Insung　JUNG（国際基督教大学）

K2-1　教職科目「教育工学」における MOOC 作成

和田　正人（東京学芸大学）

K2-2　大学教員がオープン教育リソース(OER)を選択・利用する際に有用なガイドライン

佐々木　輝美・Insung JUNG（国際基督教大学）

K2-3　OER として MOOC を公開する意義とその可能性

永嶋 知紘・八木 秀文・重田 勝介(北海道大学)

K2-4　OER、MOOC からの授業・教材改善モデルの提案

八木 秀文・永嶋 知紘・重田 勝介(北海道大学)

K2-5　学習者から見た MOOCs の視聴覚教材としての「魅力」―自律的学習を促す MOOCs の考察―

高林　友美（国際基督教大学大学院）

K-3　課題研究Ⅲ「情報活用能力の育成と評価」（７０１１教室）

１０月１８日（日）9：30~11：30

コーディネータ：後藤　康志（新潟大学）

K3-1　情報活用能力調査と国際調査の比較検討から

小柳　和喜雄（奈良教育大学）

K3-2　「情報活用能力調査」の結果の要点整理と当調査の活用に向けた今後の課題

豊田　充崇（和歌山大学）

K3-3　「情報活用能力調査」結果の活用

後藤　康志（新潟大学）

K3-4　情報活用の実践力を育成するための指導を促す下敷き型『学習支援カード』の開発

木村　明憲（京都教育大学附属桃山小学校）・浅井 和行(京都教育大学)

高橋 純(東京学芸大学)・堀田 龍也(東北大学)

K-4　課題研究Ⅳ　メディアとしての教材（７０１２教室）

１０月１８日（日）9：30~11：30

コーディネータ：朝倉　徹（東海大学）

K4-1　メディアとしての教材

朝倉　徹（東海大学）

K4-2　日本人英語学習者向け語彙リストの分析について

山本　五郎（広島大学）

K4-3　メディアとしての桃太郎

仲　久徳（星槎大学）

K4-4　経験教員は「授業」「メディア」「教材」にどんな視線を送るのか―教材理解・指導方法に対する領域横断的な準拠枠の設定可能性―

山口　好和（北海道教育大学函館校）

シンポジウム　　図書館３階 オーバルホール　　１０月１８日（日）15：20~17：20

テーマ：「教育とメディアの理論研究展望」

コーディネータ：小笠原　喜康（日本大学）

登壇者：小柳　和喜雄（奈良教育大学）「子どもたちに培いたい力という視点からの理論研究の考察」

朝倉　徹（東海大学）「メディア論を援用した教育メディア研究の視点」

中橋　雄（武蔵大学）「教育メディアの活用と学級文化の形成」

一般研究プログラム・１０月１７日（土）・１日目

A1　一般研究　（３５０３教室）　１０月１７日（土）　12:30~15:00

司会：浅井　和行(京都教育大学)　中村　純子(東京学芸大学)

A1-1　教員養成に対するメディア・リテラシー教育実践の検討 ……
　　中村　純子(東京学芸大学)・和田　正人(東京学芸大学)

A1-2　ソーシャル・メディア時代における ……
　「メディアを主体的に読み解く能力」育成のための授業デザイン
　―「タイムスリップ情報収集シミュレーション」の検証から―
　　村井　明日香(桜美林大学)

A1-3　マンガを読解・解釈・鑑賞する力を育成する ……
　メディア・リテラシー学習プログラムの開発と評価
　　大久保　紀一朗(島根県江津市立津宮小学校)
　　佐藤　和紀(東京都北区立豊川小学校・東北大学)・中橋　雄(武蔵大学)
　　浅井　和行(京都教育大学)・堀田　龍也(東北大学)

A1-4　「私のメディア史」制作からメディア・リテラシーを育てる授業 ……
　　岡本　弘之(聖母被昇天学院中学校高等学校)・浅井　和行(京都教育大学)

A1-5　アクション・リサーチによるＭＣカリキュラムの改善 ……
　　浅井　和行(京都教育大学大学院連合教職実践研究科)

B1　一般研究　（３５０４教室）　１０月１７日（土）　12:30~15:00

司会：石川　勝博(常磐大学)　宇治橋　祐之(日本放送協会)

B1-1　教員・学生間のコミュニケーションおよび主体的な学習態度と ……
　アクティブ・ラーニング型初年次教育科目への学習意欲との関連性
　　石川　勝博(常磐大学)

B1-2　初等社会科における「公民的資質の態度」育成をめざした授業実践 ……
　-「熟考と議論」を用いた公共圏形成の有効性の検討-
　　杉本　大昂・浅井　和行(京都教育大学大学院連合教職実践研究科)

B1-3　グローバルテクニカルリーダー(GTL)の育成 ……
　－21 世紀に求められる資質・能力を培う授業の展開－
　　井口　実千代(東京工業大学附属科学技術高等学校)

B1-4　国内外 50 校で取り組む国際アクティブラーニング ……
　　影戸　悠一(ウフル)・佐藤　慎一・影戸 誠(日本福祉大学)

B1-5　学校教師の担当学年・年代別にみる ……
　NHK 学校放送番組・デジタル教材利用の実態と利用契機
　　宇治橋　祐之(日本放送協会 放送文化研究所)

C1　一般研究　（３５０６教室）　１０月１７日（土）　12:30~15:00

司会：亀井　美穂子(椙山女学園大学)　稲垣　秀人(城西国際大学)

C1-1　オンライン・メディア活用による観光メディア教育の諸事例　……
　稲垣　秀人(城西国際大学)

C1-2　日中両国の若者のツイッターとウェイボーの使用傾向についての研究　……
　趙　若涵(東京学芸大学)・和田　正人(東京学芸大学)

C1-3　中学校国語科授業 での教育用 SNS 活用による生徒の変容　……
　―帯単元「時代を生きる 1945 」より ―
　植田　恭子(大阪市立昭和中学校)
　中川　一史(放送大学)・豊田　充崇(和歌山大学)

C1-4　中等教育で SNS を活用するための方略　……
　～「荒れ」の解消から「深い学び」へ～
　二田　貴広(奈良女子大学附属中等教育学校)

C1-5　アニメーションとプログラミングを用いた子どもの表現活動の促進　……
　亀井　美穂子・宮下　十有・加藤　良将・鳥居　隆司(椙山女学園大学)

D1　一般研究　（３５０８教室）　１０月１７日（土）　12:30~15:00

司会：佐藤 和紀(東京都北区立豊川小学校)　村井　万寿夫(金沢星稜大学)

D1-1　出来事を伝える写真の撮り方を学ぶデジタル教材の開発と評価　……
　佐藤　和紀(東京都北区立豊川小学校・東北大学大学院)
　竹田　康一郎(元武蔵大学)・中橋　雄(武蔵大学)

D1-2　浮く・泳ぐ運動の授業におけるタブレット端末活用の効果と検証　……
　岡田　江奈実(東京都北区立豊川小学校)
　今野　貴之(明星大学)・中川　一史(放送大学)

D1-3　ヒアリング能力育成に特化したグループに１台の　……
　タブレット端末と学校放送番組及びデジタル教材の効果的活用に関する研究
　福士　晶知(岩見沢市立美園小学校)・藤村　裕一(鳴門教育大学)
　今野　貴之(明星大学)・中川　一史(放送大学)

D1-4　本物にふれ意識が高まる学習環境　……
　清水　義彦(富山高等専門学校)

D1-5　タブレット端末を活用する授業の“イメージシート”の開発　……
　村井　万寿夫(金沢星稜大学)・中川　一史(放送大学)
　佐藤　幸江（金沢星稜大学)・小林祐紀（茨城大学)

E1　一般研究　（３５０９教室）　１０月１７日（土）　12:30~15:00

司会：後藤　康志(新潟大学)　菊地　紀子(帝京短期大学)

E1-1　情報処理教育におけるクラスメートというメディア２　……
菊地　紀子(帝京短期大学)・篠原　文陽児(東京学芸大学)

E1-2　MAIN モデルに基づく充足を用いた　……
大学生のインターネットの充足についての研究
石山　大揮(北海道科学大学大学院)・渡辺　功(北海道科学大学)

E1-3　子どもの親役割意識に関するカルティベーション分析　……
岸 郁美(国際基督教大学大学院) ・佐々木　輝美(国際基督教大学)

E1-4　映像クリップが児童の社会的事象の捉えに与える影響の検証　……
福田　晃(金沢市立十一屋小学校)
今野　貴之(明星大学)・中川　一史(放送大学)

E1-5　メディア接触がメディア認知に及ぼす影響　……
後藤　康志(新潟大学)

F1　一般研究　（３５１０教室）　１０月１７日（土）　12:30~15:00

司会：河村　壮一郎(鳥取短期大学)　平島　和雄(京都市立梅小路小学校)

F1-1　「可視化による思考促進」の提案　……
平島　和雄(京都市立梅小路小学校)・樋口とみ子・浅井和行(京都教育大学)

F1-2　想像力に着目した ICT 機器の活用　……
―図形分野における授業実践を通して―
納庄　聡(田辺中学校)・浅井　和行(京都教育大学)

F1-3　デジタル教科書の利用授業における教授行為としての教師発話の分析　……
李　禧承(桐蔭横浜大学)

F1-4　視聴覚教材を活用した家庭科授業の改善　……
八日市　律子・浅井　和行(京都教育大学大学院連合教職実践研究科)

F1-5　汎用プレゼンテーションソフトでの３次元画像の教材利用　……
河村　壮一郎(鳥取短期大学)・嶋田　博行(神戸大学)

一般研究プログラム・１０月１８日（日）・２日目

A2　一般研究　（７００９ 教室）　１０月１８日（日）　12:30~15:00

司会：佐藤 幸江(金沢星稜大学)　鈴木　祐(ＮＨＫ学園高等学校)

A2-1　通信制高校における学校設置科目「メディアラーニング」の実践 ……
　鈴木　祐
　森山　了一・大泉　由香・小椋　光彦・中澤　匠吾(ＮＨＫ学園高等学校)
A2-2　小学校外国語活動における ICT 活用方法への提案 ……
　山川　拓（京都教育大学附属桃山小学校)・浅井　和行(京都教育大学)
A2-3　低学年のメディア学習におけるワークシート記述による保護者との連携の効果 …
　今度　珠美(鳥取大学大学院)・原　克彦(目白大学)
A2-4　紙ベースを好む学生に対する Web を利用した数学力強化の試み ……
　五月女　仁子(日本女子体育大学)
A2-5　教員養成系大学の算数科教育法における ICT 活用に関する実態調査 ……
　佐藤　幸江(金沢星稜大学)・村井　万寿夫(金沢星稜大学)
　中川　一史(放送大学)・小林　祐紀(茨城大学)

B2　一般研究　（７０１０ 教室）　１０月１８日（日）　12:30~15:00

司会：池尻　良平(東京大学)　加藤　亮介(十文字学園女子大学)

B2-1　HMD デバイスを前提とした VR 学修空間の構築と分析 ……
　加藤　亮介・川瀬　基寛(十文字学園女子大学)
　結束　孝典(テレビ朝日メディアプレックス)
B2-2　生涯学習としての映像言語教育論 ……
　―エイゼンシュテインと小津安二郎の映画鑑賞法―
　市川　昌(江戸川大学メディア・コミュニケーション学部)
B2-3　二次元情報をもとにした三次元立体構成時における視線移動 ……
　中島　悠(京都教育大学)
　黒田　恭史・岡本　尚子(立命館大学)・浅井　和行(京都教育大学)
B2-4　歴史学習における 3D 教材の効果 ……
　池尻　良平(東京大学)
　佐藤　和紀(東京都北区立豊川小学校／東北大学)・柴田　隆史(東京福祉大学)

C2　一般研究　（７０１１教室）　１０月１８日（日）　12:30~15:00

司会：今野　貴之(明星大学)　安井　政樹(札幌市立新琴似北小学校)

C2-1　NHK for School を活用した協働学習による児童の意識変化 ……
安井　政樹(札幌市立新琴似北小学校)・堀田　博史(園田学園女子大学)

C2-2　学校放送番組を継続活用した主体的な学びの実践とその効果 ……
片岡　義順 (川崎市立新城小学校)
水野　宗市(宮崎市立国富小学校)・堀田　博史(園田学園女子大学)

C2-3　学校放送番組活用による小学校理科「人体」での問題解決学習 ……
菊地　寛(浜松市立三ヶ日西小学校)
中川　一史(放送大学)・今野　貴之(明星大学)

C2-4　保育における放送教育番組の活用実践 ……
宮前　志麻(住吉保育園)
吉田　のり子(京都市立九条弘道小学校)・浅井　和行(京都教育大学)

C2-5　協働的な学習の授業設計における学校放送番組活用の検討 ……
今野　貴之(明星大学)・石井　芳生(関西大学初等部)

D2　一般研究　（７０１２教室）　１０月１８日（日）　12:30~15:00

司会：泰山　裕(鳴門教育大学)　中川　一史(放送大学)

D2-1　中学校における思考スキルの活用傾向の検討 ……
泰山　裕(鳴門教育大学)

D2-2　21 世紀型コミュニケーション力の指導内容の要素抽出と ……
教員研修による経時的変化
山本　朋弘(熊本県教育庁)・佐藤　幸江(金沢星稜大学)
中川　一史(放送大学)・村井　万寿夫(金沢星稜大学)

D2-3　大学における批判的な思考を促す授業デザイン： ……
メディアリテラシーの授業を事例として
張　暁紅・久保田　賢一(関西大学)

D2-4　小学校国語科教科書におけるマッピングの活用意図の整理 ……
中川　一史(放送大学)
佐藤 幸江・村井万寿夫(金沢星稜大学)・小林　祐紀(茨城大学)

E2　一般研究　（７２２１教室）　１０月１８日（日）　12:30~15:00

司会：三宅　正太郎(福山大学)　山本良太(東京大学)

E2-1　協同を重視した海外での教育実践における活動のデザイン　……
　　山本　良太(東京大学)
E2-2　社会人教育における反転授業の効果　……
　　西尾　三津子・宗岡　徹(関西大学)
E2-3　講義映像の画面構成が及ぼす学習効果への影響　……
　　澁川　幸加(筑波大学　情報メディア創成学類)
　　森田　ひろみ・西岡　貞一(筑波大学　図書館情報メディア系)
E2-4　学生の自主性を高める反転授業の新たな試み　……
　　菊池　尚代(青山学院大学)
E2-5　大学 CM に見る心に残る映像表現の構成に関する研究　……
　　三宅　正太郎(福山大学)

F2　一般研究　（７２２２教室）　１０月１８日（日）　12:30~15:00

司会：久保田　賢一(関西大学)　佐藤　慎一(日本福祉大学)

F2-1　三学年が連携したプロジェクト型学習の実践　……
　　佐藤　慎一(日本福祉大学)・影戸　悠一(株式会社ウフル)
F2-2　２１世紀型コミュニケーション力を高める授業デザインの一考察　……
　　楠本　誠(松阪市立三雲中学校)・中川　一史(放送大学)
F2-3　極微小資料の光学顕微鏡撮影による３次元デジタルアーカイブ化　……
　　野村　正弘・井上　智史(駿河台大学)
　　住田　功太朗・宇梶　勝雄・白石　行広(富士通エフ・アイ・ピー(株))
F2-4　学習指導要領改訂期の小学校国語科教科書における　……
　　説明文教材の映像メディアの理解と表現に関する分析
　　石川　等(甲府市立里垣小学校)・中川　一史(放送大学)
　　中橋　雄(武蔵大学)・佐藤　幸江(金沢星稜大学)・森下　耕治(光村図書出版)
F2-5　社会構成主義にもとづくメディアリテラシー教育のデザイン　……
　　久保田　賢一(関西大学)

ICoME 2015 のご報告

2015 年 8 月 18 日より 20 日まで第 13 回 ICoME が中国・東北師範大学で開催されました。日本から約 40 名、韓国からは 30 名、中国各地から約 200 名の参加となり、盛況のうちに終了しました。

カンファレンススピーカーとして鈴木克明会長の「メディア教育の温故知新」（Discovering New in Educational Media Study by Taking Lessons from the Past）があり、我々自身もその歴史をともに振る変えることができました。

中国各地の新しい取り組みが、テーマ「デジタル環境におけるインテリジェントラーニング」にそってスピーカーにより紹介され、日本の参加者はコンカレント、ラウンドテーブルで韓国、中国の研究者と交流を行いました。

また　同大学が中心となっている「スマートスクール」の興味深い紹介もありました。タブレットを活用した一人一台のプロジェクトであり、デジタル教科書タイプの教材開発には後発のメリットを生かした工夫が見受けられました。

日本円の換金など少々苦労もしましたが、「偽満皇宮博物館」の参観などカルチャーツアーの体験もできました。「満州」についてあまり知らない学生たちにとっては「温故知新」となりました。中日の連携、日韓の連携も歴史学習をベースに展開されていくべきと考えさせられました。もちろん安倍首相ではありませんが「We must not let our children, grandchildren, and even further generations to come, who have nothing to do with that war, be predestined to apologize.」という考えに基づいて。

影戸　誠（日本福祉大学）

論文投稿のご案内

編集委員会委員長　久保田 賢一

■教育メディア研究（Vol.23, No.1）　投稿論文募集します。

締切：2016 年 1 月 30 日

企画委員会ワークショップの報告

９月５日（土）の午後に東京・新川の東京ユビキタス協創広場 CANVAS にて開催された。当日は、大学の教員、学生、小中学校の教員、その他教科書会社・教材会社、放送局などの教育関係者約５０名の参加があった。

「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」というテーマのもと、最初に、中橋雄氏（武蔵大学）から「ソーシャルメディアの特性を考えさせる教材の開発」という題目で、ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシーの目標や構成要素、本研究で扱うソーシャルメディアの範囲について説明があった上で発した動画共有サイトやニュースサイトについての活用について講演があった。

次に、宇治橋祐之氏（NHK 放送文化研究所）から「ソーシャルメディア利用の現状と教育番組の取り組み」という題目で、ソーシャルメディアの実態及び教師のメディアに対する意識の調査についての考察や NHK のメディア・リテラシー関連番組やウェブサイトの紹介があった。最後に、鈴木謙介氏（関西学院大学）から「ソーシャルメディアと“発信させられる”こと――メディア・リテラシーへの注意」という題目で、メディア・リテラシー教育に関しては、ソーシャルメディアのしくみそのものに着目することが大事であることや、これまでのメディアリテラシー教育では扱われていない範囲の指摘などについて、提案があった。

車座になったグループディスカッションでは、講演をもとに活発な議論が展開し、それを経て、パネルディスカッション「再考：ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」として、佐藤幸江氏のコーディネートで講演者３名がパネリストとなり、メディア・リテラシーのとらえ、これまでとこれからの違い、どんな教材が必要かをはじめ、特に、ネガティブな面だけでなくポジティブな面を教育にどう盛り込んでいくのかということに関して議論を深めた。

中川一史（企画委員長）

◆ 学会費納入のお願い ◆

＜納入のお願い＞

2015 年度（2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日）の年会費（正会員 7,000 円、学生会員 4,000 円）が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします.

＜送金先＞

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガッカイ）

※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座から ATM を使って納入いただく場合、手数料は無料です。

※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏

名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振り込みは、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。

※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。

※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます)。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要お知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくお願いいたします。

【入会者･退会者】※敬称略

新入会員・正会員（14 名）・・・山口 好和、吉岡 良平、中村 武弘、永嶋 知紘、宮前 志麻、宗岡 徹、岡田 江奈実、石井 芳生、山口 眞希、村井 明日香、福士 晶知、村上 郷子、清水 義彦、五月女 仁子

新入会員・学生会員（5 名）・・・澁川 幸加、中村 悠、趙 若涵、張 暁紅、八日市 律子

退会者・正会員（2 名）・・・三友 俊一、川島 佳奈

種別変更（学生会員→正会員）（3 名）・・・菊池 尚代、山本 良太、生田 幸士

会員総数　402 名・16 団体
名誉会員：3 名
正会員：358 名
学生会員：41 名
団体会員：6 団体
購読会員：10 団体
（平成 27 年 9 月 25 日 現在）

日本教育メディア学会　事務局	広報委員会
〒176-8534　東京都練馬区豊玉上 1-26-1 武蔵大学社会学部　中橋雄研究室内 電話：03-5984-4792　E–mail：office@jaems.jp 学会ホームページ URL：http://jaems.jp/	委員長　小柳和喜雄（奈良教育大学） 副委員長　永田智子（兵庫教育大学） 副委員長　村上正行（京都外国語大学）